

拓殖大学工学部

令和5年度 研究計画申請書

フリガナ 研究者氏名	タクシヨク タロウ 拓殖 太郎 印	所属学科等	情報工学科						
研究課題	常温下における各種レアメタルの伸縮と引っ張り強度の比較								
研究経費	申請および使用の内訳								
基盤的研究費	730 千円 : a								
採択型研究費	科研費加算		採択型申請タイプ (A・B・C から 1 つ選択)						
	応募	○	100 千円	Ⓐ	950 千円 (500 千円以上 1000 千円未満)				
	採択		150 千円	B	千円 (200 千円以上 500 千円未満)				
	継続		150 千円	C	千円 (200 千円未満)				
	① :		100 千円	② :	950 千円				
	③その他公的研究費等		採択機関 : (採択金額 千円) 研究課題 :						
使用内訳 (金額の単位は千円)	基盤的研究費			採択型研究費					
	品名等	数量	金額	品名等	数量	金額	品名等	数量	金額
	消耗品			機器備品					
	ナイロン糸	200m	100	ノートパソコン	1 台	250			
	タングステン単線	200m	150	賃貸料					
	ハフニウム単線	200m	150	出張先設備賃料	14 回	300			
	用品費			データ資料費					
	カーボン丸長棒	2 本	150	3D ソフト	1 本	100			
	通信運搬費			謝金					
	切手・宅配便	50 回	30	協力者謝礼	10 名	100			
諸会費			旅費						
日本釣友会費	年額	50	三浦海岸	10 回	30				
研究図書費			親不知漁港	3 回	70				
学会誌購入	10 志	100	ネブラスカ州	1 回	200				
計:a			730				計:b 1,050		
							合計 (a+b) : 1,780		
研究目的	研究目的, 研究 (計画) の学術的な特色について焦点を絞り, 具体的かつ明確に記入								
<p>極度の細加工ができるレアメタルを利用した、常温下の引っ張り強度とフレキシブル性を比較する。</p> <p>タングステン鋼などフィラメントに使われるレアメタルは極度に細く伸ばすことが出来、引っ張り強度に強いことが知られている。</p> <p>引っ張り強度とフレキシブル性は相反するものであり「強い＝堅い、堅い＝折れやすい」といえる。現代では「強くて、しなやか」な金属が求められ、そのような金属はフィラメントに代表されるような金属に見られる。</p> <p>これらの金属の強度比較、曲げ折れ比較を行い、強度とフレキシブル性を持った金属と通電の関係および素材としての汎用性を探る。</p>									

研究計画・方法

別添『令和5年度研究費申請に伴う「研究計画書」等の提出について』の「IV. 申請書作成上の留意点」の(1)の⑥を参照の上、記載してください

昨年度まで行っていた〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇については、2月に論文発表した¹が、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の解析という課題が残されていた。本研究課題は、その課題を引き続き行うものである。

[illegible]

本年度の研究課題については、①〇〇〇〇〇〇〇を検証し、②〇〇〇〇〇〇〇の現地調査を行い、③〇〇〇の解析を行って進めていくが、①については基盤的研究費、②については採択型研究費、③については科学研究費補助金を使用する。

具体的な進め方については、

The page contains a large rectangular area filled with a grid of small, empty circles. This grid is intended for students to take detailed notes during their lesson. The circles are arranged in approximately 20 rows and 60 columns.

研究業績

前年度、学術誌・学会等に発表した論文・作品等を記入。

発表年月(西暦)

論文・学会発表等・著者名・学協会誌名(最初と最後のページ)

2018 年 5 月

“□□□□□”・拓殖太郎・学会研究報告, pp.30-50

2018 年 7 月

“△△△研究”・拓殖太郎，拓殖新一郎 共著・釣友会出版

2019 年 2 月

“○○○○○”・拓殖太郎・AYU 学会誌, pp.100-130